

開設母体

要件
体育

生物、地球、数学、物理、化学、創成、医学、看護、医療、芸術、総学3,4組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103123	基礎体育インラインスケート(春)	3	0.5	1	春AB	火3	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108143	基礎体育器械運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111123	基礎体育剣道(春)	3	0.5	1	春AB	火3	鍋山 隆弘	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力づくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2113183	基礎体育サッカー(春)	3	0.5	1	春AB	火3	稲垣 和希	サッカーのゲームを通して、基礎技術やサッカーの原理原則を理解する。サッカーを楽しむためにも、基礎技術となるボールを「蹴る」・「止める」「動かす」ことは重要となる。また、チームメートと協調しながらチーム戦術の習得を試みる。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2115123	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	火3	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通して徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2116123	基礎体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	1	春AB	火3	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117143	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	火3	本間 三和子	水の物理的特性を理解しながら水泳の技能を高めることで、幅広い領域の水泳活動を実践できる能力を身に付けることを目的とする。また、生涯にわたり水泳を楽しみ、健康を維持する能力の獲得を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2121143	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122163	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	火3	新開 涼介	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2123143	基礎体育ダンス(春)	3	0.5	1	春AB	火3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に触れることで、個々の自己表現力と感性を磨く。ヨガの基礎を紹介しながら、美しい姿勢、健康的な身体作りの必要性を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) G科目
2130123	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3		本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。	対面 G科目
2133183	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	火3	宮崎 明世	フライングディスクの扱いに慣れ、操作に熟達することで、ディスクを使った様々なスポーツを楽しめるようになることを目的としています。アルティメットを中心に学習し、技能の向上とともにルールの工夫や戦術の理解と実践、仲間との交流も大切にしています。	II 対面 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2135123	基礎体育バドミントン(春)	3	0.5	1	春AB	火3	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。IA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136163	基礎体育バレーボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	I1 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137143	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	樫 浩輔	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2140123	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	火3	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2141123	基礎体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	1	春AB	火3	松元 剛	フラッグフットボールを基にした簡易ゲームを通して、基礎的な技術力・戦術力を学修しながら、チーム活動にとって必要となるコミュニケーションやリーダーシップについて理解を深める。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては、特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。
2145123	基礎体育野外運動(春)	3	0.5	1	春AB	火3	高橋 達己	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2152123	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	火3	谷川 聡	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2158143	基礎体育アスレティックトレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	火3	福田 崇	アスレティックトレーニングとは、アスリートがスポーツの競技特性や自身の身体特性を理解して自身に適切なトレーニングプログラムを実践することでコンディションを上げていくを意味する。一般学生においても、自身の目的に応じたトレーニングプログラムを実践することは重要であり、トレーニングを通して自身の身体機能を理解する(コンディショニングを実践する)必要がある。本授業では、身体を動かすことで、自身のコンディショニングへの関心付けを行い、安全で効果的なトレーニングを実施する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

生物、地球、数学、物理、化学、創成、医学、看護、医療、芸術、総学3,4組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103133	基礎体育インラインスケート(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108153	基礎体育器械運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111133	基礎体育剣道(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	鍋山 隆弘	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力づくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2115133	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通して徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリー等の装飾品は外す。
2116133	基礎体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117153	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	本間 三和子	水の物理的特性を理解しながら水泳の技能を高めることで、幅広い領域の水泳活動を実践できる能力を身に付けることを目的とする。また、生涯にわたり水泳を楽しみ、健康を維持する能力の獲得を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2123153	基礎体育ダンス(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に触れることで、個々の自己表現力と感性を磨く。ヨガの基礎を紹介しながら、美しい姿勢、健康的な身体作りの必要性を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) G科目
2140133	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業 方法	単位 数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2141133	基礎体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	松元 剛	フラッグフットボールを基にした簡易ゲームを通して、基礎的な技術力・戦術力を学修しながら、チーム活動にとって必要となるコミュニケーションやリーダーシップについて理解を深める。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては、特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152133	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	谷川 聡	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2158153	基礎体育アスレティックトレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	福田 崇	アスレティックトレーニングとは、アスリートがスポーツの競技特性や自身の身体特性を理解して自身に適切なトレーニングプログラムを実践することでコンディションを上げていくを意味する。一般学生においても、自身の目的に応じたトレーニングプログラムを実践することは重要であり、トレーニングを通して自身の身体機能を理解する(コンディショニングを実践する)必要がある。本授業では、身体を動かすことで、自身のコンディショニングへの問いかけを行い、安全で効果的なトレーニングを実施する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2113193	基礎体育サッカー(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	稲垣 和希	サッカーのゲームを通して、基礎技術やサッカーの原理原則を理解する。サッカーを楽しむためにも、基礎技術となるボールを「蹴る」・「止める」「動かす」ことは重要となる。また、チームメートと協調しながらチーム戦術の習得を試みる。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2121153	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122173	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	新開 涼介	卓球競技の基本技術の本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2133193	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	宮崎 明世	フライングディスクの扱いに慣れ、操作に熟達することで、ディスクを使った様々なスポーツを楽しめるようになることを目的としています。アルティメットを中心に学習し、技能の向上とともにルールの工夫や戦術の理解と実践、仲間との交流も大切にしています。	II 対面 G科目
2135133	基礎体育バドミントン(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。TA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136173	基礎体育バレーボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2137153	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	樫 浩輔	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145133	基礎体育野外運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3	高橋 達己	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130133	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	火3		本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。	対面 G科目

社会、国際、教育、心理、障害、資源、情報、知識、総学5,6組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2107163	基礎体育空手(春)	3	0.5	1	春AB	木1	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調および形ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。
2110123	基礎体育弓道(春)	3	0.5	1	春AB	木1	松尾 牧則	本授業では弓道の基礎となる射法八節を学ぶ。近距離および中間距離における発射練習を通じて、安全で合理的な技法を学習する。また、簡易試合により試合の進め方についても学習する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) G科目
2115163	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	木1	岡田 弘隆	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 女子は 道着の下にTシャツを着用すること
2117123	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	木1	仙石 泰雄	様々なレベルにおいて、水中運動を楽しむことを目的とする。4泳法の習得を目指すことに加え、スキndaイビングや水球など、様々な水中運動に取り組む。	I 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2121163	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	金田 健史	ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解し、ゲームの中で実践していく。	I1 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122143	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	木1	野中 由紀	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2123163	基礎体育ダンス(春)	3	0.5	1	春AB	木1	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ等)を紹介する中で、健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2125163	基礎体育テニス(春)	3	0.5	1	春AB	木1	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	II. テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130163	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	木1		体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。	対面 G科目
2133163	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	木1	藤本 巳由紀	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず、ニュースポーツと呼ばれる種目(ボッチャ、ディスクゴルフ、アルティメット、モルックなど)の中から数種類を体験する。自分の興味、体力、健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるような知識および基礎動作の習得を目指す。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が制限され、活動内容に変更が生じる場合がある。	対面 男女別要素(接触) G科目
2134143	基礎体育バスケットボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブル、パスなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら修得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2135143	基礎体育バドミントン(春)	3	0.5	1	春AB	木1	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2136183	基礎体育バレーボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137123	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	木1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2140143	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	木1	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2143163	基礎体育ボディ・ワーク(春)	3	0.5	1	春AB	木1	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチング(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレスサへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 男女別要素(接触) G科目 ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。
2148163	基礎体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	1	春AB	木1	長谷川 聖修	体操を通して心身をリフレッシュすると共に、仲間とスポーツを楽しむための知識や基礎的な運動能力を身につける。「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、体験したことのない運動に挑戦することでチャレンジ精神を培う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2152143	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	木1	榎本 靖士	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

社会、国際、教育、心理、障害、資源、情報、知識、総学5,6組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2107173	基礎体育空手(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	麓 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調および形ができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2110133	基礎体育弓道(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	松尾 牧則	本授業では弓道の基礎となる射法八節を学ぶ。近距離および中間距離における発射練習を通じて、安全で合理的な技法を学習する。また、簡易試合により試合の進め方についても学習する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) G科目
2115173	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	岡田 弘隆	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 女子は 道着の下にTシャツを着用すること 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117133	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	仙石 泰雄	様々なレベルにおいて、水中運動を楽しむことを目的とする。4泳法の習得を目指すことに加え、スキndaイビングや水球など、様々な水中運動に取り組む。	I 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2123173	基礎体育ダンス(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ等)を紹介する中で、健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2134153	基礎体育バスケットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、シュートやドリブルなどの基礎技術を習得し、仲間と協力しながら習得した技術をゲームで実践しながら学習を進めていく。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2140153	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	松尾 博一	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2148173	基礎体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	長谷川 聖修	体操を通して心身をリフレッシュすると共に、仲間とスポーツを楽しむための知識や基礎的な運動能力を身につける。「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、体験したことのない運動に挑戦することでチャレンジ精神を培う。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152153	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	榎本 靖士	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2121173	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	金田 健史	ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解し、ゲームの中で実践していく。	II 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122153	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	野中 由紀	卓球競技の基本技術を本質から学ぶとともに、他種目にも共通する動作について理解を深める。多様な練習方法やミニゲームを通じて、コミュニケーションやスポーツマンシップ等についても学習する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125173	基礎体育テニス(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	II テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留學生が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2133173	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	藤本 巳由紀	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず、ニュースポーツと呼ばれる種目(ボッチャ、ディスクゴルフ、アルティメット、モルックなど)の中から数種類を体験する。自分の興味、体力、健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるような知識および基礎動作の習得を目指す。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が制限され、活動内容に変更が生じる場合がある。	対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2135153	基礎体育バドミントン(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	吹田 真士	バドミントンの技能を習得するとともに、相手と一緒にプレイすることの大切さを学習する。	I1 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事。TA不在の場合があり、英語及び日本語での積極的なコミュニケーションを求める。
2136193	基礎体育バレーボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	秋山 央	バレーボールのルールを理解し、基礎的な技術であるパス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)の正しい動作を習得するとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	I1 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2137133	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	I1 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2143173	基礎体育ボディ・ワーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチ(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレッサーへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 G科目 男女別要素(接触)ペア ワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2130173	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	木1		体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。	対面 G科目

人文、比文、日語、応理、エシス、社工、総学1,2組(春学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103143	基礎体育インラインスケート(春)	3	0.5	1	春AB	金1	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108163	基礎体育器械運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111183	基礎体育剣道(春)	3	0.5	1	春AB	金1	酒井 利信	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力づくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2115183	基礎体育柔道(春)	3	0.5	1	春AB	金1	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等装飾品は外す。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2116143	基礎体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	1	春AB	金1	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2117183	基礎体育水泳(春)	3	0.5	1	春AB	金1	中園 優作	初心者から上級者までレベルを問わず、水中で運動することの楽しさを味わうことを第1の目的とする。4泳法の習得の他に、スキndaイビングや水球、リズム泳など様々な水中運動に取り組む。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2140163	基礎体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	金1	大林 太朗	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) 男女別要素(その他) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152183	基礎体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	1	春AB	金1	木越 清信	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる
2158123	基礎体育アスレティックトレーニング(春)	3	0.5	1	春AB	金1	松尾 博一	トレーニングの内容を理解し、計画・実践・評価方法を習得することで、運動の目的に適したトレーニングを自ら考えることができるようになる。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2113123	基礎体育サッカー(春)	3	0.5	1	春AB	金1	小井土 正亮	ゲームをプレーし、楽しむことができるためのサッカーにおける原理原則を理解する。ボールを「止める」、「蹴る」、「運ぶ」といった基礎技術を身につけると同時にチームメイトと協調して動くことの重要性を学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2121183	基礎体育ソフトボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的にを行い、後半は試合を中心に行う。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122183	基礎体育卓球(春)	3	0.5	1	春AB	金1	安藤 真太郎	卓球競技の本質をふまえて、独特の練習法や多様なゲーム法を実習。他種目にも関係する運動技術や行動様式を学ぶ。現代社会における、スポーツ活動の意義や価値を再確認する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125143	基礎体育テニス(春)	3	0.5	1	春AB	金1	三橋 大輔, 大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基盤作りを目的として構成されている。	II テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用。 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく、座学または雨天時施設での実技を行う。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2133143	基礎体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	1	春AB	金1	齊藤 武利	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず、あまり知られていないスポーツ競技種目(フライングディスク、インディアカなど)を自ら体験してみて、新たなスポーツ種目への取り組みを実践する。春学期は、健康作りや体力測定などの各種測定も実施しつつ、自分の体力や健康作りに応じた生涯スポーツへの足がかりとなるようなニュースポーツの体験を行う。ただし、天候(雨天時や気温などの気象状況)によっては、活動場所が限定される都合上、室内種目やグラウンドゴルフ、ベタンクなどの各ゲームにも接することもある。	I 当日の天候により、変更する場合もあり、実施場所は、当日、体育センター前の屋外掲示板に掲示。 対面 G科目 詳細後日周知
2134123	基礎体育バスケットボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1		バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2137183	基礎体育ハンドボール(春)	3	0.5	1	春AB	金1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方を学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145143	基礎体育野外運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	坂本 昭裕	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目指す。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130183	基礎体育トリム運動(春)	3	0.5	1	春AB	金1	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。例として、ボッチャやふうせんバレーボール、オリエンテーリング等が挙げられる。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目

人文、比文、日語、応理、エシス、社工、総学1,2組(秋学期1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2103153	基礎体育インラインスケート(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	河合 季信	インラインスケートによる運動を通して、仲間と共にスポーツを楽しむための基礎を学ぶと共に、体力の維持・向上を目指す。	I 実務経験教員 対面 G科目
2108173	基礎体育器械運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	金谷 麻理子	器械運動ならびに体操競技の種目を用いて、「自分を感じる」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2111193	基礎体育剣道(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	酒井 利信	剣道の基礎的技術、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。また、剣道の特性に関する知識を高め、健康・体力づくりにつなげてゆく。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2115193	基礎体育柔道(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	平岡 拓晃	柔道の基本を習得する。基本的な技を使用した安全な乱取を通じて徒手格闘技の魅力を理解する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2116153	基礎体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの歴史的、文化的、身体科学的特性に触れながら、個人に適した楽しみ方を考えられるようになる。運動が苦手な人、歩くことや走ることが好きな人、将来マラソンに挑戦してみたい人など様々なレベルに合わせた実践を行い、自身の体力や健康を維持、増進できる能力を身につける。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2117193	基礎体育水泳(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	中園 優作	初心者から上級者までレベルを問わず、水中で運動することの楽しさを味わうことを第1の目的とする。4泳法の習得の他に、スキndaイビングや水球、リズム泳など様々な水中運動に取り組む。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目
2140173	基礎体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	大林 太朗	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を学び、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングの基礎的な方法を習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) 男女別要素(その他) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2152193	基礎体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	木越 清信	陸上競技の走跳投という運動を目的および手段とし、体力や技能を高めるための理論および方法を学習し、あわせて競技能力に応じて競技を楽しむ態度を養う。また、健康・体力の意義について陸上競技の実践を通して理解する。	I 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 男女で技能の評価基準が異なる
2158133	基礎体育アスレティックトレーニング(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	松尾 博一	トレーニングの内容を理解し、計画・実践・評価方法を習得することで、運動の目的に適したトレーニングを自ら考えることができるようになる。	I 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2113133	基礎体育サッカー(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	小井土 正亮	ゲームをプレーし、楽しむことができるためのサッカーにおける原理原則を理解する。ボールを「止める」、「蹴る」、「運ぶ」といった基礎技術を身につけると同時にチームメイトと協調して動くことの重要性を学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2・3名までとします。
2121193	基礎体育ソフトボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半は試合を中心に行う。	II 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2122193	基礎体育卓球(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	安藤 真太郎	卓球競技の本質をふまえつつ、独特の練習法や多様なゲーム法を実習。他種目にも関係する運動技術や行動様式を学ぶ。現代社会における、スポーツ活動の意義や価値を再確認する。	II 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2125153	基礎体育テニス(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基盤作りを目的として構成されている。	II テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用。 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく、座学または雨天時施設での実技を行う。
2133153	基礎体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	齊藤 武利	既存のスポーツ競技種目やその価値観にとらわれず、「より親しく」「より楽しく」の合言葉のもとで、あまり知られていない新しいスポーツ種目、特に大学生のために開発された種目(フライングディスク、インディアカなど)を体験してみる。また、伝統的な競技(綱引き)などもニュースポーツ種目として体験する。秋学期は、天候の都合(雨天時や気温などの気象状況)により、グラウンドゴルフやユニホックなどの各ゲームにも接して、幅広くニュースポーツ種目を自分の体力に応じて体験し、将来の生涯スポーツへの足掛かりとなるようなスポーツ活動を実践する。	II 実施場所は、当日、気象条件によって変更されるために、体育センター前の屋外掲示板に掲示。 対面 G科目 詳細後日周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2134133	基礎体育バスケットボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1		バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	I1 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2137193	基礎体育ハンドボール(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	山田 永子	ゲームを中心に、個人での状況解決の仕方、グループでの状況解決の仕方学ぶ。また、ボールを使った様々な動きを通して、コーディネーション能力を高める。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在受講する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2145153	基礎体育野外運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	坂本 昭裕	本授業では、チャレンジアクティビティ、火おこし、ネイチャーアクティビティなどの1)基礎的な技術(協力、コミュニケーション、創造力等)を修得すること。2)そのための知的理解を深めること。さらに、3)自然の中で活動することを通して、自己や自然環境に対する肯定的な価値観を涵養することを目標とする。	I1 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2130193	基礎体育トリム運動(秋)	3	0.5	1	秋AB	金1	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションに合わせた教材を用意したい。例として、ポッチャやふうせんバレーボール、オリエンテーリング等が挙げられる。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目

教育、心理、障害、数学、物理、化学、社工(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2208223	応用体育器械運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3	金谷 麻理子	主にトランポリンを用いて、「器具との協調」をテーマに、各自の能力にあった技能の取得と運動の理解を目指す。	実務経験教員 対面 G科目
2212203	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	水3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、バターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択してもらう
2213203	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	水3	小井土 正亮	サッカーの技術・戦術の基本を理解する。また、それらをゲームのどのような場面で使用するのが効果的なのかを学び、よりゲームの楽しさを実感する。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2・3名までとします。
2215243	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	水3	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通して体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2221203	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2223223	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	水3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズムカルな音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225243	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	水3	三橋 大輔	テニスの基礎技術の習得。テニスを通してマナー、ルール、スポーツの価値について学ぶ。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230203	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体カトレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2236223	応用体育バレーボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	秋山 央	バレーボールのルールや競技特性を理解し、パス、スパイク、サーブなど各種技術の正しい動作を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2237203	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	水3	樫 浩輔	ゲームを中心に、基礎的な技術・戦術を習得する。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2240223	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	水3	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2245243	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	水3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

教育、心理、障害、数学、物理、化学、社工(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2208233	応用体育器械運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	金谷 麻理子	主にトランポリンを用いて、「動きのコントロール」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。	実務経験教員 対面 G科目
2212213	応用体育ゴルフ(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	白木 仁	ゴルフの基本技術を発展させ、ミニコースの実践を通してルール、マナー、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、秋学期中には、近郊ゴルフコースにてコース実習を行う。	経費 打撃場約¥1,300 コース約¥4,000 対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213213	応用体育サッカー(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	小井土 正亮	ボールそのものを扱う技術に加え、ボールを持たない時の動きを理解することで、ゲーム中の相手との駆け引きを楽しめる能力を養うことを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2215253	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2221213	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2223233	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	平山 素子	「身体を使う・創造する」段階では、様々なジャンルのダンスにチャレンジすることでダンス文化の多様性や、現代性を再認識する。さらに、自らの身体を使ってオリジナルのダンス作品を制作し、身体から発信される多彩な表現世界を楽しむ。	対面 男女別要素(接触) G科目
2225253	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	三橋 大輔	スピンサーブを含む発展的技術や戦術などについて学ぶ。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230213	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体カトレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2236233	応用体育バレーボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	秋山 央	バレーボールの各種技術をゲームを通して向上させるとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2237213	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	樫 浩輔	ゲームの理解、グループ・チーム戦術の習得によって、チームの中での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を養う。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知
2240233	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2245253	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	水3		秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設置等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月22日(日)午前を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

人文、比文、日日、情報、医学(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2207243	応用体育空手(春)	3	0.5	2	春AB	木2	龍 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調、形および組手ができるようにする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用ガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2211243	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木2	鍋山 隆弘	防具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2214243	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木2	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221243	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	金田 健史	応用体育(春)では、ソフトボールをおこなう上での基本的な知識、技術を理解するとともに、基礎技能の向上と、試合の中で獲得した技術を生かすために実践を意識した練習に取り組み、スポーツとしてのソフトボールの楽しさやルールの特徴を理解していく。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222203	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木2	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223243	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木2	米澤 麻佑子	ダンスの基礎的な身体の使い方を学び、様々な音楽にのって体を動かす楽しさを知る。また、授業を通して様々な運動プログラム(簡単なストレッチングやヨガ、マッサージ等)を身につけ、バランスのとれた健康的な身体づくりを目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225263	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木2	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2230243	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木2	坂本 昭裕	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンデションにあわせた教材を用意したい。昨年度は、ウォーキングを行った。	実務経験教員 対面 G科目
2234203	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235203	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木2	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技能を習得する。仲間とともに楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようになる。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2236243	応用体育バレーボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	秋山 央	バレーボールのルールや競技特性を理解し、パス、スパイク、サーブなど各種技術の正しい動作を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2241223	応用体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木2	松元 剛	フラッグフットボールの前バスゲームを通して、フラッグフットボールの戦術的知識や技能について理解し、チームの状況に応じた作戦立案について実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2243243	応用体育ボディ・ワーク(春)	3	0.5	2	春AB	木2	加藤 敏弘	体幹部を中心としたトレーニングやストレッチング(円柱補助具を含む)、姿勢を整えるためのワークを行い、「からだ」に対する知識を深め、それらの技能の習熟を図る。普段、気にかけないまま緊張しこわばってしまった身体をほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、内側からの身体感覚を磨きストレスサーへの抵抗力を高め、運動そのものを享受する。	対面 男女別要素(接触) G科目 男女別要素(接触)ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2248243	応用体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	2	春AB	木2	長谷川 聖修	乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、これまでに体験したことのない異次元の動きを通じて、心身をリフレッシュすること。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

人文、比文、日日、情報、医学(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2207253	応用体育空手(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	龍 正樹	空手道の基本的な技術の実践を通じて、自らの身体と心、他者の身体と心、そしてその関連について理解を深める。基本技術と呼吸法、フットワークと基本技術の協調、形および組手ができるようにする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 mfumoto@tiu.ac.jp 単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上の者とする。 レポート等の作成に際して生成AIを用いる場合には、「教育における生成AI 活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用してください。
2211253	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	鍋山 隆弘	防具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけるとを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214253	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221253	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	金田 健史	応用体育(秋)では、応用体育(春)において獲得してきた基礎技能やルールに関する知識を生かして、より実践的なチーム練習と、ゲームにおいて更なる技能向上とチームスポーツとしてのソフトボールへの理解を深める。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222213	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	野中 由紀	スポーツ活動に関する知識を深め、様々な種目に通ずる技術を理解した上で、ゲームや技術練習を応用的に行い、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223253	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	米澤 麻佑子	動きの探究や作品創作に挑戦し、身体様々な可能性を発見するとともに、自己を表現する力を高める。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225273	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2230253	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	坂本 昭裕	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学修内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。秋学期では、春学期の状況を踏まえて発展的に授業内容を検討する。昨年度はハイチャーゲームを行った。	実務経験教員 対面 G科目
2234213	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	仲澤 翔大	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)、グループ戦術(カットプレイ、スクリーンプレイなど)を習得し、個人戦術、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235213	応用体育バドミントン(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	谷藤 千香	バドミントンの習慣を形成し、自らの意志でバドミントンと係わることの楽しさを学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2236253	応用体育バレーボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	秋山 央	バレーボールの各種技術をゲームを通して向上させるとともに、仲間と協力してボールを繋ぎ、チームワークを高める能力を身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2241233	応用体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じたゲームを通して、フラッグフットボールに関する戦術的知識や技能の実践力を高め、ゲームパフォーマンスの向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2243253	応用体育ボディ・ワーク(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	加藤 敏弘	足ほぐし、コアトレーニング、ストレッチング(円柱補助具を含む)、呼吸体操、軸をとらえるためのワーク等を行い、「からだ」に対する知識を深め、他者とコミュニケーションを図りながら、それらの技能の習熟を図る。緊張しこわばってしまった身体を他者とともにほぐし、引き締め、ゆるめ、整えることで、生涯にわたって運動を継続する力を育む。	対面 男女別要素(接触) G科目 男女別要素(接触)ペアワークが苦手な方は単独で行うことができます。ペアの組み方は自由です。3人組になることもあります。短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2248253	応用体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	2	秋AB	木2	長谷川 聖修	乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、これまでに体験したことのない異次元の動き通じて、心身をリフレッシュすること。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

国際、生物、地球、応理、エシス、看護(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211263	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2212243	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、パターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213263	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲーム形式を通じて攻撃・守備の原理や基本技術を身につける。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2214263	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215263	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221223	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222243	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木3	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223263	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズムカルな音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225203	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2230263	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。	実務経験教員 対面 G科目
2233223	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	藤本 巳由紀	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ペタンクなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2234243	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235263	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技術を習得する。仲間とともに楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようにする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237243	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	山田 永子	ゲーム活動を通じて、基本的な技術を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240203	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245203	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

国際、生物、地球、応理、エシス、看護(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211273	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけることを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2212253	応用体育ゴルフ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術を発展させ、ミニコースの実践を通してルール、マナー、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、秋学期中には、近郊ゴルフコースにてコース実習を行う。	経費 打撃場約¥1,300 コース約¥4,000 対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2213273	応用体育サッカー(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲームを通して基本的な戦術、ポゼッションプレーを理解し、集団行動・フォーメーションを成熟させていく。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2214273	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215273	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通して体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	I 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221233	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222253	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	野中 由紀	スポーツ活動に関する知識を深め、様々な種目に通ずる技術を理解した上で、ゲームや技術練習を応用的に行い、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2223273	応用体育ダンス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	平山 素子	「身体を使う・創造する」段階では、様々なジャンルのダンスにチャレンジすることでダンス文化の多様性や、現代性を再認識する。さらに、自らの身体を使ってオリジナルのダンス作品を制作し、身体から発信される多彩な表現世界を楽しむ。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2225213	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230273	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。秋学期では、春学期の状況を踏まえて発展的に授業内容を検討する。	実務経験教員 対面 G科目
2233233	応用体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	藤本 巳由紀	既存のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、大学生によって新たに開発されたスポーツ種目のフライングディスク競技やあまり一般的には知られていないスポーツ種目(ユニホック、グランドゴルフなど)を体験する。また、昔から受け継がれている世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ベタンク)についても改めて体験してその楽しさについて再考する。さらに、これらの実践を通して、基礎体育で養った自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2234253	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術、グループ戦術(カットプレイ、スクリーンプレイ)を習得し、個人戦術、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2235273	応用体育バドミントン(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	谷藤 千香	バドミントンの習慣を形成し、自らの意志でバドミントンと係わることの楽しさを学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2237253	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	山田 永子	チーム内での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を身につける。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2240213	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245213	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	木3		秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設置等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月21日(土)午前を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

社会、資源、創成、知識、医療、芸術(春学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211203	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	金2	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古できるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214203	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	金2	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215223	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	金2	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2216263	応用体育ジョグ&ウォーク(春)	3	0.5	2	春AB	金2	榎本 靖士	ジョギングとウォーキングの科学的基礎を学びながら、現代的なスポーツとして生涯にわたって実践するための知識と経験を得る。自身の体力や健康状態に合わせたジョギングおよびウォーキングが実践でき、さらに健康と体力を維持、増進するための課題と解決方法を検討できるようになる。またジョギングやウォーキングを楽しみながら行える態度を養う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2217263	応用体育水泳(春)	3	0.5	2	春AB	金2	角川 隆明	本学プール施設の特性を活かし、さまざまな水辺活動に取り組む。特に春学期は、四泳法の技術や水球の基本的技術の習得および水中で自己保全するための知識を身につける。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221263	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222223	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	金2	安藤 真太郎	スポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を通じて、単一種目をより深く追求することにより、様々なスポーツシーンに関係する技術を理解させる。応用的ミニゲームへも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2225223	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	金2	大森 肇	テニスの基礎的な知識・技術・マナーを習得する。また、初級者は半面シングルス、中級・上級者は半面シングルスおよび全面ダブルスを体験し、基本的な戦術を習得する。授業内容はテニスを生涯スポーツとして楽しむための基礎作りを目的として構成されている。	テニスシューズまたはスパイクなしの運動シューズを着用 実務経験教員 対面 G科目 雨天時にはオンラインではなく、座学または雨天時施設での実技を行う。
2230223	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	金2	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は運動習慣に繋がるような多様な楽しみ方ができるスポーツを紹介することを目的とする。受講生全体のコンディションを鑑み、内容等の変更をすることがある。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2233203	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	金2	齊藤 武利	既存のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ベタンク、綱引きなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	当日の実施場所や教室は、天候等によって変更になるために、決定後周知 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2234263	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2		バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、バスケットボールの特性を理解し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237223	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	山田 永子	ゲームを中心に、基礎的な技術・戦術を習得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 連携学生の受講可 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240263	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	金2	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2241263	応用体育フラッグフットボール(春)	3	0.5	2	春AB	金2	松尾 博一	フラッグフットボールの前バスゲームを通して、フラッグフットボールの戦術的知識や技能について理解し、チームの状況に応じた作戦立案について実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245223	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	金2	坂本 昭裕	春学期の授業では、課題解決的なチャレンジアクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2248263	応用体育リフレッシュ体操(春)	3	0.5	2	春AB	金2	狩野 莉奈	心地よい運動や仲間との交流を通して、スポーツを楽しむ豊かな心と知識を養う。また、乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、非日常的な運動に触れることで、心身をリフレッシュする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

社会、資源、創成、知識、医療、芸術(秋学期2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2211213	応用体育剣道(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	鍋山 隆弘	剣道具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけることを目標とし、心身の向上も目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2214213	応用体育シューティングスポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	嵯峨 寿	弓道の初歩的技術の習得と競技会体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2215233	応用体育柔道(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	平岡 拓晃	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツ着用可。アクセサリ等の装飾品は外す。
2216273	応用体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	榎本 靖士	ウォーキングとジョギングを科学的理解を中心に、より実践的な経験と知識を習得する。ウォーキングとジョギングのスピード、時間、距離、気候、地面の変化によって環境と自分の相互関係を感じられるようになる。ウォーキングとジョギングを楽しむために必要な健康および体力の状態をマネジメントできるようになる。生活にあったウォーキングやジョギングを主体的に実践する。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 ランニングシューズが必要短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2217273	応用体育水泳(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	角川 隆明	本学プール施設の特性を活かし、さまざまな水辺活動に取り組む。特に秋学期は、基本技能の習得や四泳法を楽に速く泳ぐための技術を身につけるとともに、水中安全への理解を深める。	対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2221273	応用体育ソフトボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	奈良 隆章	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実践的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2222233	応用体育卓球(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	安藤 真太郎	スポーツ活動に関する知識の深まりとともに、活動の成果を享受する能力を高める。様々なスポーツシーンに関係する技術を理解した上で、ゲーム・技術練習共に、より多様な形態で実施し、ゲームスポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2225233	応用体育テニス(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	大森 肇	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2230233	応用体育トリム運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	永田 真一	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から特別な支援を必要とする学生を対象に開講している。学習内容は運動習慣に繋がるような多様な楽しみ方ができるスポーツを紹介することを目的とする。受講生全体のコンディションを鑑み、内容等の変更をすることがある。	単位認定の対象は、原則として当該授業科目の出席時間数が3分の2以上のものとする 実務経験教員 対面 G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2233213	応用体育ニュースポーツ(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	齊藤 武利	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、大学生によって新たに開発されたスポーツ種目のフライングディスク競技やあまり一般的には知られていないスポーツ種目(ユニホック、グランドゴルフなど)を体験する。また、昔から受け継がれている世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ベタンク、綱引き)についても改めて体験してその楽しさについて再考する。さらに、これらの実践を通して、基礎体育で養った自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	実施場所や教室については、当日の天候により、決定後周知 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2234273	応用体育バスケットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2		バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)、グループ戦術(カットプレイ、スクリーンプレイなど)を習得し、バスケットボールの特性を理解し、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2237233	応用体育ハンドボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	山田 永子	ゲームの理解、グループ・チーム戦術の習得によって、チームの中での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を養う。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2240273	応用体育フィットネストレーニング(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	河合 季信	健康・体力の意義について理解し、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたトレーニングを行う。	実務経験教員 対面 G科目
2241273	応用体育フラッグフットボール(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	松尾 博一	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じたゲームを通して、フラッグフットボールに関する戦術的知識や技能の実践力を高め、ゲームパフォーマンスの向上を目指す。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2245233	応用体育野外運動(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	坂本 昭裕	秋学期の授業では、キャンプのための技術(火おこし、野外炊事(昼食づくり)、ロープワーク、タープテント設置等)について実践的に学修し、実際にデイキャンプを体験する。日程は、11月14日(土)午前(8:40から11:25)を予定している。したがって、授業時数については、調整する。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2248273	応用体育リフレッシュ体操(秋)	3	0.5	2	秋AB	金2	狩野 莉奈	心地よい運動や仲間との交流を通して、スポーツを楽しむ豊かな心と知識を養う。また、乗ることのできる「Gボール」や大きな鉄の輪の中に入って回転する「ラート」運動など、非日常的な運動に触れることで、心身をリフレッシュする。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

日、資源、社工(春学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313303	発展体育サッカー(春)	3	0.5	3	春AB	月3	小井土 正亮	サッカーというスポーツの特性(足でボールを扱う不安定さ、ミスが起きる頻度の高さ、状況の変化の連続など)を理解しつつ、よりゲームを楽しむために必要な技術・戦術の習得を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2・3名までとします。
2321303	発展体育ソフトボール(春)	3	0.5	3	春AB	月3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2323303	発展体育ダンス(春)	3	0.5	3	春AB	月3	図子 美和	多様なダンスに挑戦し、その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2325303	発展体育テニス(春)	3	0.5	3	春AB	月3	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2330303	発展体育トリム運動(春)	3	0.5	3	春AB	月3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体カトレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334283	発展体育バスケットボール(春)	3	0.5	3	春AB	月3	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをととして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2341303	発展体育フラッグフットボール(春)	3	1.0	3	春AB 夏季休業中	月3 集中	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じた大会への参加を目指し、チーム・マネジメントについて実践的に学修する。	集中講義と併せて1単位とする 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2352303	発展体育トラック&フィールド(春)	3	0.5	3	春AB	月3	谷川 聡	槍投げや円盤投げなど、高校までの授業では体験しない種目を積極的に行う。実技を中心に行うが、ルールや歴史、競技者の心理等についての講義も随時行う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

日、資源、社工(秋学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313313	発展体育サッカー(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	小井土 正亮	サッカーにおける個人の技能の向上とともに、戦術やポジションなどのチームとしての戦い方をチームメイトと共有し、戦略的にゲームに臨む楽しさを知る。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2・3名までとします。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2316313	発展体育ジョグ&ウォーク(秋)	3	1.0	3	秋AB 秋C	月3 集中	鍋倉 賢治	「苦しみの長距離走」というイメージを一新し、スポーツとしてのジョギングの楽しさ、爽快感を体得する。特に、秋の筑波山登山、つくばマラソン大会などへの参加を通して、健康・スポーツ・ライフスタイルの意義について考える。さあ、爽やかなジョギングを レッツ エンジョイ !!	0.5単位分を集中授業として行ないます。集中授業として、11月末の「つくばマラソン(10kmまたはフル)」、「筑波山登山」、つくば健康マラソン(5km)などから2つのイベントを選択し参加します(自費)。それらへの挑戦を通して、新しい自分と出会いたい、今の状況を打破したい、という学生は大歓迎。注意:つくばマラソンのエントリーは6月頃のため、manabaを通して随時連絡します。そのため、Twinsによる履修登録は4月中に行なってください。 対面 男女別要素(その他) G科目 詳細後日周知 マラソンエントリーに際し、男女別エントリーになる
2321313	発展体育ソフトボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ベア/チーム分け) G科目
2323313	発展体育ダンス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	図子 美和	多様なダンスに挑戦し、その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2325313	発展体育テニス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	三橋 大輔	テニスの基礎的な技術、戦術を習得しダブルスおよびシングルのプレーができるようにする。加えてルールやマナー、テニスの歴史を学び生涯スポーツとしてテニスを楽しむ能力を身につける。	テニスシューズがあれば着用すること。なければ運動できる靴(革靴やサンダルは危険なので不可)を着用すること。 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ベア/チーム分け) G科目
2330313	発展体育トリム運動(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334293	発展体育バスケットボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをおとして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2352313	発展体育トラック&フィールド(秋)	3	0.5	3	秋AB	月3	谷川 聡	円盤投げやハンマー投げなど、高校までの授業では体験しない種目を積極的に行う。実技を中心に行うが、ルールや歴史、競技者の心理等についての講義も随時行う。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目

エシス、応理(春学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313283	発展体育サッカー(春)	3	0.5	3	春AB	月4	小井土 正亮	サッカーというスポーツの特性(足でボールを扱う不安定さ、ミスが起きる頻度の高さ、状況の変化の連続など)を理解しつつ、よりゲームを楽しむために必要な技術・戦術の習得を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2~3名までとします。
2314283	発展体育シューティングスポーツ(春)	3	1.0	3	春AB 春C	月4 集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2321283	発展体育ソフトボール(春)	3	0.5	3	春AB	月4	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2322283	発展体育卓球(春)	3	0.5	3	春AB	月4	安藤 真太郎	卓球競技の技術の本質から学ぶとともに、上達過程の中でスポーツ活動に関する知識を深める。また自己のスポーツライフや、スポーツ文化についても実技を通して学習していく。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2323283	発展体育ダンス(春)	3	0.5	3	春AB	月4	図子 美和	多様なダンスに挑戦し、その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2330283	発展体育トリム運動(春)	3	0.5	3	春AB	月4	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目
2334303	発展体育バスケットボール(春)	3	0.5	3	春AB	月4	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2341343	発展体育フラッグフットボール(春)	3	1.0	3	春AB 夏季休業中	月4 集中	松元 剛	日本フラッグフットボール協会公式規則に準じた大会への参加を目指し、チーム・マネージメントについて実践的に学修する。	集中講義と併せて1単位とする 実務経験教員 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 各チームの男女数が均等になるように男女混合チームを作ります。 ゲームにおいては特別ルールを設定し、全員が積極的にゲームに関与できるよう工夫を行います。 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

エシス、応理(秋学期3年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2313293	発展体育サッカー(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	小井土 正亮	サッカーにおける個人の技能の向上とともに、戦術やポジションなどのチームとしての戦い方をチームメイトと共有し、戦略的にゲームに臨む楽しさを知る。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得ること また原則先着順で2`3名までとします。
2321293	発展体育ソフトボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	木内 敦詞	ソフトボールにおける安心安全と技能上達を、共生協働の実践を通して目指す。さらに、これらの活動を自己成長の機会として捉える視点を養う。授業は、受講者の技能や体力の多様性に応じて、使用球やルールを柔軟に調整して編成する。評価は技能や体力の優劣によって行わない。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2322293	発展体育卓球(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	安藤 真太郎	卓球競技の技術の本質から学ぶとともに、上達過程の中でスポーツ活動に関する知識を深める。また自己のスポーツライフや、スポーツ文化についても実技を通して発展的に学び、スポーツに関する自由な発想を育てる。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2323293	発展体育ダンス(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	図子 美和	多様なダンスに挑戦し、その動きを理解して技術の向上を目指す。さらに、個々の自己表現力と感性を磨き、生涯においてダンスを通して豊かな生活を送るための実践力を養う。	対面 男女別要素(接触) G科目
2329293	発展体育トラック&フィールド(秋)	3	1.0	3	秋AB 秋C	月4 集中	谷川 聡	走・跳・投の基本的技能を理解して自分の身体で理解できるようにし、個人の身体操作方法を学ぶとともに、トレーニング方法を学び、パフォーマンスの向上を図る。	集中実技と併せて1単位とする。 集中実技は、秋学期中に5日間の朝練習と筑波山登山を行う。 実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知
2330293	発展体育トリム運動(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	福田 崇	本授業は体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講している。受講希望者は事前に教員との面談を要する。授業内容は、受講生の心身のコンディションを考慮して体力トレーニング、フライングディスク、フィールドゴルフ、球技などから受講生全員が楽しむことができる種目を決定する。	実務経験教員 対面 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2334313	発展体育バスケットボール(秋)	3	0.5	3	秋AB	月4	仲澤 翔大	バスケットボールの個人戦術、グループ戦術を習得し、グループ戦術を中心にバスケットボールの特性を活かしたゲームをとおして、問題解決能力、協調性を養いながら、バスケットボールの構造を理解できるようになる。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目

エシス、応理3年次(必修・集中)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2600283	合気道	3	0.5	3	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、ここところからの運用法の合理性を理解し得ることを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラクスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2601283	アーチェリー	3	0.5	3	秋A	集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2603283	インラインスケート	3	0.5	3	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2604283	ウィンドサーフィン	3	1.0	3	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的な技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊します。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2606283	ウォールクライミング	3	0.5	3	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、パディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。
2609283	キャンピング	3	1.0	3	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンプに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通じて人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください、詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2619293	スノースポーツ	3	1.0	3	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2628283	東洋の心身鍛錬法	3	0.5	3	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋の心身鍛錬法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2642283	ボウリング	3	0.5	3	春季休業中	集中	谷川 聡、奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2644283	マリンスポーツ	3	1.0	3	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキndaイビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

日日、資源、社工3年次(必修・集中)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2600303	合気道	3	0.5	3	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、こころとからだの運用法の合理性を理解し体得することを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラックスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2601303	アーチェリー	3	0.5	3	秋A	集中	嵯峨 寿	アーチェリー、弓道の文化的、精神的側面を理解すると共に、自己ならびに他者への理解を深めます。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2603303	インラインスケート	3	0.5	3	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2604303	ウィンドサーフィン	3	1.0	3	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2606303	ウォールクライミング	3	0.5	3	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、パディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。 基本的には、体重でベアを組みます。シューズ、ハーネスに関してもサイズで選びます。懸垂が可能かどうか重要です。
2609303	キャンピング	3	1.0	3	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンピングに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通じて人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2619313	スノースポーツ	3	1.0	3	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2628303	東洋的心身鍛錬法	3	0.5	3	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋的心身鍛錬法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2642303	ボウリング	3	0.5	3	春季休業中	集中	谷川 聡, 奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ベア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2644303	マリンスポーツ	3	1.0	3	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキンドайビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

ウェルネス・スポーツ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2505373	ウェルネス・スポーツ	3	0.5	1	秋C	集中	谷川 聡	健康・体力づくりを実践する能力とスポーツの楽しさを享受する能力とを生涯にわたって高めていくことをめざして、幅広い視点から運動・スポーツの基礎的な知識と技能を習得し、その魅力に迫る。	今年度秋学期入学生及びG30学生対象の必修科目。一般学生は受講不可。 対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 オリエンテーションに必ず出席すること。体力測定の評価に際して、男女で基準値が異なる。

全学年対象自由科目(講義)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2802351	アメリカンフットボール(講義)	1	1.0	1 - 4	秋AB	月6	松元 剛	アメリカンフットボールの文化的背景を通して、「見る、支える」の観点から、アメリカンフットボールの観戦法について実践的に学習する。	学外実習として、国内での試合観戦を行う。 実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知

全学年対象自由科目(演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2820392	スポーツケア	2	2.0	1 - 4	春B 春AB 春C	集中月6 集中	福田 崇, 竹村 雅裕, 渡部 厚一	スポーツ障害に対する知識・処置方法を習得することを目的として、スポーツ障害の特性を解説し、その管理方法としてのスポーツマッサージ、テーピング、応急処置等の演習を行う。	受講を希望する学生は4月10日(金)までにTWINSで履修申請をすること。その時点で受講希望者数が10名を満たさなければ開講しない場合がある。開講しない場合はメールで連絡する。テーピングのテープ代金として¥3,500 対面 G科目
2847342	ランニングの世界	2	1.0	2 - 4	春C 夏季休業中	火5 集中	鍋倉 賢治	人はなぜ走るのか?古代人類は、走ることによって生存を可能にし、進化したと言われている。昨今のマラソンプームの背景を生物学的、社会的、歴史的に学び、ランニングについての自身の体験を深める。また、休日や夏季休暇中を使い、筑波山などに赴き、近年拡がりつつあるトレイルランニングなどを体験し、ランニングの世界をより広げる。	過去に「つくばマラソン」を受講した者、ランニング習慣のある学生を対象とする。集中講義と併せて1単位とする。 対面 G科目 詳細後日周知
2859352	ラグビー精神と文化	2	1.0	1 - 4	秋AB	金4	嵯峨 寿, 竹村 雅裕	ラグビーの精神とは競技のいかなる特性、競技者心理に由来するのか、また、その精神はいかなる行動と構造物に表れているのか。この授業ではノーサイド精神を表すアフターマッチファンクションとクラブハウスの意義と将来の可能性について展望する。	初回授業場所等詳細は、体育センターHPで確認してください。 対面 G科目 詳細後日周知

全学年対象自由科目(通年実技)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2824343	つくばマラソン(春)	3	0.5	1 - 4	春AB	金5	鍋倉 賢治	11月第4日曜日に行なわれる「つくばマラソン」大会に参加することを目標に、マラソンの走法、科学的トレーニング法等の知識と技能を習得し、生涯を通じてマラソンに親しむ素地を育む。	春学期を受講しないと、秋学期の受講はできません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2824353	つくばマラソン(秋)	3	0.5	1 - 4	秋AB	金5	鍋倉 賢治	11月第4日曜日に行なわれる「つくばマラソン」大会に参加することを目標に、マラソンの走法、科学的トレーニング法等の知識と技能を習得し、生涯を通じてマラソンに親しむ素地を育む。	春学期のつくばマラソン(春)を受講しないと受講できません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。
2850342	つくばマラソン中級(春)	2	0.5	2 - 4	春AB	金5	鍋倉 賢治	過去に自由科目「つくばマラソン」を受講した学生を対象に、マラソン経験者として初心者への範となることを通し、自身のランニング経験をさらに深化させ、スポーツ(ランニング)の生活化を図る。	過去につくばマラソンを履修した学生に限る。春学期を受講しないと、秋学期の受講はできません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。
2850352	つくばマラソン中級(秋)	2	0.5	2 - 4	秋AB	金5	鍋倉 賢治	過去に自由科目「つくばマラソン」を受講した学生を対象に、マラソン経験者として初心者への範となることを通し、自身のランニング経験をさらに深化させ、スポーツ(ランニング)の生活化を図る。	過去につくばマラソンを履修した学生に限る。つくばマラソン中級(春)を受講しないと受講できません。 対面 G科目 詳細後日周知 原則としてオリエンテーションに参加しないと受講できません。 詳細は体育センターHPで確認してください。

全学年対象自由科目(集中実技)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2800343	合気道	3	0.5	1 - 4	秋C	集中	三橋 大輔	合気道の練習を通して、こころとからだの運用法の合理性を理解し体得することを目指す。技を通じて、気を体感したり、積極的なリラックスの状態や心身統一の状態になれることを目標とする。レポートにより、学んだことを総合的に振り返る。	対面 男女別要素(接触) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。
2803343	インラインスケート	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	河合 季信	インラインスケートの基礎的な技術および知識を学ぶとともに、生涯を通じて安全に実施するための知識と態度を身につける。	実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2804343	ウィンドサーフィン	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	鍋倉 賢治	ウィンドサーフィンの基礎的技術と知識を学び、未経験の運動の習熟過程で身体に対する認識を深める。また、自然環境下での危険と安全配慮を認識し、生涯にわたりウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。実習は霞ヶ浦湖畔にて実施する。	泳力検査を実施する。 現地に宿泊する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は体育センターHPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2806343	ウォールクライミング	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	秋山 央	ウォールクライミングを通して、自身の空間での位置感覚を体験し、手足、体幹を用いてクライミングの技術を習得するとともに体力、集中力の心身の持久性を養う。さらに、パディーとの協力のもとクライミングの成功、達成体験による、他者との信頼感の重要性を体験する。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。 基本的には、体重でベアを組みます。シューズ、ハーネスに関してサイズで選びます。懸垂が可能かどうか重要。
2809343	キャンピング	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	坂本 昭裕	キャンピングにおいては、自然の中での生活体験とアウトドアアクティビティを通じて、自己の主体的能力を開発し、発展させることが目標である。具体的には1キャンピングを安全に自分たちの力で楽しむことができる。2キャンプに関する知識や技術について自分で求め、深めることができる。3キャンプを通して人間関係を広めることができる。4自然の中で活動することを通して、自己や環境(社会)に対する興味、関心、肯定的な倫理観を養うことである。キャンピングは、学内施設である野性の森において幕営(3泊)しながら、アウトドアアクティビティを実施する予定である。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2819353	スノースポーツ	3	1.0	1 - 4	春季休業中	集中	坂本 昭裕	本時では、スノースポーツ(アルペンスキー・スノーボード)を通じて自立的な能力を開発する。具体的な学修目標は、1スノースポーツを安全に自分の力で楽しむことができる。2スノースポーツに関する知識や技術を主体的に求め、高めることができる。自分の滑りを分析することができる。3スノースポーツを通じて人間関係を豊に広めることができる。4スノースポーツを通じて自然について考えを深めることができることである。以上を学修目標にしながら自己の開発や改善が図れることを目指したい。また、スノースポーツを生涯スポーツとして楽しめるような契機としたい。	対面 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2828343	東洋の心身鍛練法	3	0.5	1 - 4	春季休業中	集中	山田 永子	日常的な動作の質を深めていくさまざまなエクササイズを通して、東洋の心身鍛練法の世界の一端を垣間見る。いくつかのセッションのテーマにしたがったエクササイズやワークを行い、最後に座禅をして終わる。	対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2842343	ボウリング	3	0.5	1 - 4	春季休業中	集中	谷川 聡, 奈良 隆章	マナーと技術向上を図りながら生涯スポーツへ向けたボウリングを基礎から学ぶ。	対面 男女別要素(特別ルール・ベア/チーム分け) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。
2844343	マリンスポーツ	3	1.0	1 - 4	夏季休業中	集中	高木 英樹	本学プールおよび下田臨海実験センター周辺海域を実習場所として、スキndaイビングに関する基本的な技術と安全に実施するための知識を習得する。合わせて、自然環境への関心や理解を深めるために、各種講義やワークショップを実施する。	泳力検査を実施する。 対面 男女別要素(ウェア) 男女別要素(宿泊) G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育スポーツ局HPで確認してください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2857343	ポタツーリング	3	0.5	1 - 4	夏季休業中	集中	福田 崇	ポタツーリングとは、「自転車で安全にのんびりと長く走る」という意味である。本授業では、風を切る爽快感を感じながら自転車に乗ること、時には目的地にまで電車で移動をして、そこから自転車で散策をする。	フロントとリアのタイヤを外すことができる自転車を受講生で用意する必要がある。オリエンテーション時に購入アドバイスを行う。これからスポーツバイクに乗りたい初・中級者が対象。 実務経験教員 対面 G科目 詳細後日周知 自転車(クロスバイク)はレンタルします。自分の自転車を持ち込む際には要相談。これからスポーツバイクに乗りたい初・中級者が対象。 対面 G科目 詳細後日周知 受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。受講を希望する学生は、オリエンテーションに必ず出席してください。詳細は、体育センターHPで確認してください。